

会員室 室方針

若き力を求めて

副理事長 会員室担当 田中寿興

春日部青年会議所は、愛する郷土の発展と人間性の向上という目的を掲げ、今日まで地域に根差した運動を展開してまいりました。我々は、地域をいつまでも輝かせるために、そして、来る 55 周年に、最大限の感謝をお伝えするために、英知と勇気と情熱を共有する多くの同志をこの春日部青年会議所へ迎え入れてまいりましょう。

青年会議所が創立以来、途絶えることなく続いている運動が会員拡大です。我々と使命を共有し、まちの為に行動する同志を増やす会員拡大こそ、一人ひとりの意識の変革を促す最大の運動であります。しかしそのような理解がメンバー間で薄れかけている事に危機を覚えます。多くの若き力を以て、地域へ向けた運動を、大きなうねりと変えるために、今一度、引き継がれた情報を基に、メンバー間の拡大運動への理解を促し、危機感を以て、取り組んで参りましょう。また入会対象者とどのように向き合うかが重要です。入会対象者が不安に感じている事や欲している情報を、全て自分ごとと捉え、真摯に向き合ってもらいましょう。

青年会議所は人を育てる組織であり、今後もそうでなければなりません。それが、創立以来、最後の学び舎と呼ばれる所以です。その学び舎の最初の配属が塾にあたります。人は人でしか磨かれないのであれば、青年会議所運動への積極的な参加を促して参りましょう。そこには一生涯の仲間となる同期というライバルの存在が必ず見つかる場所でもあるためです。その存在が必ず、自分を奮い立たせてくれる事でしょう。そして先輩から後輩へ、繰り返し引き継がれてきた青年会議所という組織の歴史や伝統を薄れさせないために、未来の組織の一端を担うメンバーの成長を真剣に考え取り組んでまいりましょう。

青年会議所がいつまでもこの地域の為に行動する組織としてあり続ける為に、会員室は未来を担うメンバーと本気で正面から向き合ってもらいます。

一年間よろしくお願い致します。

会員拡大会議 基本方針

同志^{なかま}の数だけ地域が輝く

会員拡大会議 議長 桑原弘樹

創立以来、地域社会の発展と人間性の向上を目的に掲げ、弛まぬ運動を展開してきた公益社団法人春日部青年会議所が、今後も地域から信頼を頂き、力強い運動を展開していくためには、我々と志を同じくする若き力が必要です。会員拡大運動こそ、地域の未来を本気で考え、行動する市民を増やす、最大の意識変革運動であり、その力が多ければ多いほど、地域に向けた運動は更に加速度をあげ、大きなうねりとなるのです。

今一度、会員拡大運動に本気で向き合い、春日部青年会議所メンバーが一丸となって運動をしていかなければなりません。

そして、来る55周年という節目に向け、見守り続けて来てくれたこの地域に対し、多くのメンバーで感謝を伝えたいと考えます。

青年会議所は、40歳で卒業というルールがあります。そのため、会員の拡大をし続けていかななくては組織を存続していくことができません。つまり、会員が減少する事は、地域に向けた運動ができなくなってしまう事を意味します。組織に目を向ければ、メンバーの入れ替わりが激しいこの組織は、入会年度の浅いメンバーが増えれば増えるほど、会員拡大運動の重要性が薄れるという危険性があります。

本年度、会員拡大会議では、組織が一丸となり会員拡大運動を遂行していく為に、引き継がれた過去の情報を基に、会員メンバーと密接に連携を図り、そして会員拡大運動の進捗を細かく発信してまいります。また、その重要性和危機感を訴えると共に、会員拡大運動を未経験なメンバーでも携わりやすい雰囲気を作ってまいります。

また、入会対象者の立場に立つという事も重要であります。まず我々がこの素晴らしい春日部青年会議所の魅力を見つめ直し、入会対象者の不安を関心へと導くために、魅力を惜しみなく発信してまいります。

春日部青年会議所は、70名から80名と比較的大きな組織であります。それが理事長所信にある「そこそこ良い状態であると、それに満足してしまい、現状に甘んじてしまう」という状態が生まれます。そのため、この春日部青年会議所という組織を未来に繋げていくために、そして更に輝く地域の未来に向け、我々が常に「なれる最高の姿」を目指す向上心を忘れずに、取り組んでまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の入会に関する事。
- (3) 中期運動指針に関する事。
- (4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

JAYCEE 育成塾 基本方針

情熱と誇りを持った JAYCEE へ

JAYCEE 育成塾 塾長 西澤賢一

春日部青年会議所は、愛する郷土の発展と人間性の向上という目的を掲げ、運動を展開してまいりました。私たちはこれからも愛する郷土の発展に向け、力強く運動を発信していく必要があります。未来の春日部青年会議所を更に輝かせる為には、長きにわたる歴史の中で育まれた、地域に対し真剣に向き合う姿勢と、仲間との絆を大切にする伝統を守っていく必要があります。私たちはそのような春日部青年会議所の一員としての情熱と誇りを持った JAYCEE を育ててまいります。

青年会議所に入会して間もないメンバーにとっては様々な不安があると考えます。慣れない環境の中、周りは知らない人ばかりでは、青年会議所活動への参加にためらいを感じる事でしょう。それでは青年会議所に意義や魅力を見出すことはできません。まずは不安を一つずつ取り除き、例会、事業に参加してもらうことが何より必要です。

本年度の塾では、青年会議所の心構え、ルールを身に付けてもらうのはもとより、各委員会が担う例会や事業に、何もわからずただ参加するのではなく、担当する各委員会の立場に立ち、企画書を深く読み解くことにより、例会、事業に対する理解を図り、主体性を育んでまいります。

また、同じ目的に向かって、様々な課題に取り組むなど、塾生同士が真剣に意見を交わしながら交流できる機会を積極的に作っていきます。職業、年齢、性別という枠を超え、互いに磨きあえる仲間がいる事によって更に自分が成長できる場所は、必ずまた参加したいと思うきっかけになるはずです。

人は人でしか磨かれないという言葉がありますが、ただ多くの人と関わるだけではなく、人と人との真剣な交流でなければならないと考えます。自分の価値観にとらわれず、多様な価値観に触れ、思考を深め実践する。この繰り返しで人は磨かれていくと考えます。

未来の春日部青年会議所を担う大きな力を育てるために、塾生と真剣に向き合い、先輩諸兄から受け継がれた歴史と伝統をしっかりと伝承してまいります。

一年間よろしくお願ひ致します。

【事業計画】

- (1) 新入会員へのオリエンテーションに関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) その他、新入会員に関する事。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

総務室 室方針

強い思いを持って自らを律し、屈強な組織となる

副理事長 総務室担当 本田 洋明

公益社団法人春日部青年会議所は1965年に創立後、これまで長きにわたって運動を継続して展開して参りました。55周年という我々にとって節目の年度が翌年に控える中、設立趣意書を振り返りますと、先輩方が築き上げてこられた青年会議所の歴史の始まりには、いわゆる「創始の精神」、まさに強い思いが存在していたことを強く感じることが出来ます。設立当時から脈々と思いを受け継ぎ行動に移してこられた先輩方の英知と勇氣と情熱に対して、敬意と感謝の念に堪えません。我々はこれからも青年会議所として、なれる最高の姿をイメージし、向上心を持って日々の活動や運動へ取り組んで行く必要があると考えます。

春日部青年会議所は公益社団法人格を有する組織として、また愛する郷土の発展という目的のもと市民の意識に働きかける運動を行う組織として、常に地域の方々からの信頼に足る公正かつ安定した法人運営を行う組織である必要があると考えます。

本年度総務室では、春日部青年会議所が今後も地域から信頼され、地域に必要とされる効果的な運動を継続して展開していくことのできる価値ある組織であり続けるために、移行趣意書にも記載された、我々の「社会責任の明確化」と「団体としての主体性の確立」という諸先輩方の紡いでこられた強い思いを、今一度理念として共有し、公益3基準の遵守をはじめとする厳正な財務管理と法人運営を徹底して担ってまいります。

歴史ある公益社団法人春日部青年会議所の一員であることをメンバーひとりひとりが自覚し、責任感と主体性を持ち、英知と勇氣と情熱を持って日々の活動や運動に取り組む、そんな屈強な組織となるべく、常に強い思いで自らを律しながら、一年間取り組んでまいります。

一年間よろしくお願ひ致します。

総務財務委員会 基本方針

信頼される組織であり続けるために

総務財務委員会 委員長 平田 洋介

「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に春日部青年会議所は設立されました。私たちは、諸先輩方が引き継いでこられた創始の精神を受け継ぎ、これからも力強い青年会議所運動を継続していかなければなりません。そのためには、公益社団法人として未来永劫、地域の方々から信頼される組織であるよう適正な法人運営及び財務管理を行い、愛する郷土の発展を目指し日々活動するメンバーが、より活動しやすい環境を整える必要があります。

私たちが行う運動は、メンバーおよび諸先輩方から頂いている大切な会費や、地域の企業から協賛して頂いている協賛金によって支えられています。よって、財務審査会議にて複数の眼で適正かつ正確に確認を行うことで、公益社団法人として信頼される運営を行ってまいります。

春日部青年会議所が力強い運動を今後も行って行くためには、委員会メンバーが活動しやすい環境を維持し継続していかなければなりません。そこで、総務財務委員会が備品並びに会員名簿をはじめとする各種基本資料の情報の整理を行い、より活動しやすい環境を整えます。さらに、青年会議所の重要な歴史や実績が詰まっているデジタルアーカイブを整理し、新たな資料の更新も速やかに行っていくことにより、必要な情報を取得しやすい環境を整え未来につなげていきます。

また、最高意思決定機関である総会を厳粛に設え、公正かつ適正な運営を行うほか、理事会においても、各委員長と密に連絡を取り合い議案提出日に間に合うようスケジュールの確認や呼びかけを行うことで事前配信を守り、滞りなく議事が進行できるようにいたします。

本年度総務財務委員会では、諸先輩方の設立当初からの精神を受け継ぎ、理事長所信のもとメンバーひとりひとりが意識を高め同じ方向に進めるよう、一年間総務財務委員会の担いを通じてメンバーを強い思いでサポートしてまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 定款、諸規定に関する事。
- (2) 総会・理事会の設営および関連資料の作成。
- (3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成。
- (4) 褒賞、表彰に関する事。
- (5) J C ルームの管理及び物品備品の保管、管理に関する事。
- (6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関する事。
- (7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録及びオブザーバー参加者の出席記録に関する事。
- (8) 会費の徴収に関する事。
- (9) 財務の管理に関する事。
- (10) 各委員会との連絡調整。
- (11) その他各委員会に属さない事項。
- (12) 会員の退会に関する事。
- (13) 会員の拡大に関する事。
- (14) 中期運動指針に関する事。
- (15) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

広報室 室方針

これまでの礎を^{むね}志に、誠意ある行動をしよう

専務理事 広報室担当 小笠原拓也

春日部青年会議所は過去54年の間、『愛する郷土の発展』を目的として、地域の問題点を模索し、その時代ごとの変化に応じた運動を展開してまいりました。

私たちの運動は、地域の皆様がまちの問題点を身近なものとして捉える事のできる機会であったと考えます。今後もこの機会を、より多くの地域の皆様に届ける為に、ホームページ・SNS等の既存媒体を更に充実させ、これまで以上に地域の方の目に留まるような発信を行ってまいります。

我々がこれまで、運動を行ってこられたのは、地域の皆様や行政関係者様、企業様、各種団体様からの信頼という基礎を先輩諸兄の、皆様が築き上げてきたからこそです。それは、未来永劫大切にしなければいけません。今後も我々の運動に対してご理解を頂くために、組織の窓口として誠意のある対応をし、更なる信頼関係で結ばれるよう尽力してまいります。

青年会議所には各種大会があり、その大会の中で、開催されるセミナーには多くの学びがあります。その学びは仕事だけの一助になるわけではなく、必ず地域社会への発展へと寄与できると考えます。自らの成長と、地域社会への貢献の糧とすべく、多くのメンバーで各種大会へ参加し、学びを得てまいりましょう。

また本年も公益社団法人日本青年会議所、関東地区、埼玉ブロック協議会へと多くのメンバーが外向致します。外向は、地域の枠を超えた同志との出会いがあり、そこでは多くの友情が芽生え、絆が生まれる機会でもあります。春日部青年会議所を代表し、地域の枠を超え運動・活動しているメンバーを積極的に支援してまいりましょう。

広報室では、仲間の為に、誰かの為にと言う気持ちを忘れず、過去築き上げてきた信頼を大切に誠意ある行動をしてまいります。

一年間よろしくお願い致します。

広報渉外委員会 基本方針

地域と私達をつなぐ架け橋に

広報渉外委員会 委員長 並木勇樹

春日部青年会議所は、愛する郷土の発展を願い日々運動を展開しています。我々はこの運動を継続して行っていかなければなりません。この思いを地域の皆様に理解していただき、運動に加わって頂く事で生まれる共感が、一人一人の意識と行動を変えると考えています。

しかし、我々がいかに「地域の為に運動に参加してほしい」と唱えても、地域の皆様がその運動の価値を認めてくれなければ意味がありません。

そこで本年は春日部青年会議所の運動に関わった人に着目し、同じ地域に住む私たちが、どのように地域を想い運動をしてきたのかを発信していき、地域の皆様がより我々の運動を理解していただけるように、運動の価値や魅力を伝えていきたいと考えています。

その為に、今まで行ってきたホームページや、SNS 等を利用した情報発信を、スピード感をもち数多く行い、各メディアや各委員会と連携を図り、より多くの方へ情報が伝わるよう努めてまいります。一人でも多くの皆様に情報を届け興味を持ってもらい、運動の参加につなげていきたいと思えます。

これまで春日部青年会議所が運動を行ってこれたのは、地域、行政関係、企業、各関係諸団体の皆様のご理解があったからこそです。だからこそ、ご理解いただいている皆様、そして各地の友好関係にある青年会議所の皆様と、現在まで築き上げてきた関係をこれからも継続し、より強固なものにしていかなければなりません。今後も、誠実な対応を心掛け連絡調整を密に行い、ご協力いただいている皆様との信頼関係を崩さないよう努めてまいります。

青年会議所には、日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会への出向制度があります。そして、全国大会のような各地で開催される大会では貴重な学びを得る機会があります。メンバーの成長の為、参加の意味をしっかりと伝え、各種大会への積極的な参加を促していきたいと思えます。そして、多くのメンバーで参加をすることで、春日部青年会議所を代表し出向しているメンバーの支援に繋がっていきます。

地域の皆様そして仲間に支えられ、私たちは運動をすることができます。その事に感謝を忘れず、何事にも積極的に取り組む前向きな姿勢を貫いてまいります。その姿が地域を明るくし、地域貢献になると信じて。

一年間よろしくお願ひ致します。

【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐。
- (2) 慶弔に関する事。
- (3) 広報に関する事。
- (4) 公益社団法人日本青年会議所・関東地区協議会・埼玉ブロック協議会との連絡調整。
- (5) 各種大会の案内・手配及び出向者に関する事。
- (6) 行政その他、地域の諸団体との渉外。
- (7) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理。
- (8) ホームページの管理。
- (9) 情報の収集及び提供。
- (10) じゃがいもに関する事。
- (11) 同好会に関する事。
- (12) 会員の拡大に関する事。
- (13) 中期運動指針に関する事。
- (14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

地域室 室方針

繋がり

副理事長 地域室担当 佐々木 大

春日部青年会議所は、愛する郷土の発展を目的として設立され、その想いは54年と長きに亘り、受け継がれてまいりました。私たちはその想いをしっかりと受け止め、私たちの強い思いも加え、さらなる魅力的な地域づくりに取り組んでいく必要があります。

春日部・杉戸・宮代地域は、高度経済成長期を経てベッドタウンとして発展してきました。しかし、ここ数年、人口は減少し続けています。特に子育て世代の転出超過に伴い、婚姻・出生数の減少が大きく、このまま推移すると2040年には現在の80%程になるというデータが出ており、近隣自治体と比べても大きく減少する見込みとなっています。

また、若年層の減少は、地域の歴史や伝統文化の継承を困難にし、お祭りのような伝統行事が継続できなくなる恐れがあります。そしてさまざまなコミュニティ活動が縮小し、住民同士の交流の機会が減り、やがて賑わいや地域への愛着も失われていくでしょう。

このまちが、魅力と活気のある地域社会となるには、住まう人々に「地域への関心」と「地域の一員」という意識を持ってもらうとともに、人々にとって暮らしやすく、子育てしやすい地域にしていく必要があります。そこで地域室では、まず地域の企業・商店・団体に協力を呼びかけ、本業を通じた社会貢献活動を行っていただきます。その活動を通じて地域との繋がりを深めていただくとともに、地域の多くの若者世代をまき込み、知識・縁・信頼・助け合いなどの価値観に触れてもらいます。それによって若者世代が働く事への喜びや地域との結びつきを実感できる社会をめざします。「地域への関心」が芽生え、やがて自分も「地域の一員」との自覚を育むきっかけを作り、今後の地域の活性化につなげてまいります。

地域に対する関心と愛着をより深く持つてもらう為、まずは私達がわくわくして取り組みよう。地域の未来に思いを馳せて。

一年間よろしくお願い致します。

地域創造委員会 基本方針

心を動かす

地域創造委員会 委員長 菊池雅也

春日部青年会議所は、愛する郷土の発展を目的として設立され、その想いは創立より54年間に亘り受け継がれてきました。我々は多くの諸先輩方が築いてくれたこの歴史を深く理解すると共に、その想いをより良い魅力的なまちづくりの為に繋げてまいります。

この地域は高度経済成長期の昭和40年頃から急速に人口が増加し、ベッドタウンとして発展を遂げてきました。しかし近年、婚姻率や出生率の減少と共に、子育て世代である若者の市外への転出が顕著な問題となっております。なぜ若者がこの地域から離れていってしまうのでしょうか？それは仕事や学校で、昼間は地域外に出ていくため、地域の人や行事との関わりが希薄になり、地域の魅力に気づかず、関心を持つことなく他の地域に転出してしまっていることが考えられます。このままでは、地域のコミュニティや経済は次代の担い手となる若者が減り続けてしまい、ゆるやかに衰退してしまいます。我々はこの課題に向き合い、若者にこの地域の魅力を伝え、このまちに住みたいと思うような愛郷心を抱いてもらえるまちづくりに取り組んでいかなければなりません。

その為に本年度、地域創造委員会では人と地域を繋げる運動として、V S O P運動を展開してまいります。V S O P運動とはVolunteer Service One day Projectの略で、企業や商店、団体が、本業を通じて定期的に地域へ社会貢献を行う運動です。

この運動では地域の会社には目には見えない資本が蓄積します。異業種と通じて知り得ることができる新しい「知識」、地域の人々とV S O P運動を通じて広がり深まる新たな「縁」、社会への奉仕を積極的に行う事で得られる社会的「信頼」、定期的に行う事で高まる地域の「評判」。この運動を行う事により蓄積された資本が循環し、地域と企業、そして若者の繋がりを深め経済循環を活性化させ続けます。V S O P運動を通して、若者の雇用と、持続的な経済活動を促し、そこに地域の若者たちをまき込むことで、地域の魅力ともいえる人と人、心と心の繋がる機会を創出してまいります。

地域の人と若者が繋がり、気付かなかった地域の良いところを知り、地元を誇りに思う。そしてそこに住まう一人として地域の為に活動する意欲を持つ。そんな若者が増える事でやがて、暮らしやすく、安心して子どもを産み育てられるまちになることでしょう。

若者と地域の人との繋がりを深める為に、強い思いを抱き、地域の課題解決の為にあきらめずに挑戦し続け、若者の心を動かせるような運動をおこなってまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 魅力あふれる地域社会の創造に向けた調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 古利根川清掃に関する事。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

育成室 室方針

明るい豊かな未来に向けて

副理事長 育成室担当 小川哲史

春日部青年会議所は創立以来、「明るい豊かな社会」の実現に向け、地域に根付いた「ひとづくり」運動を行って参りました。私達はこれからも地域に必要とされる組織として、未来を担う人材育成を継続して展開してまいります。

近年、情報社会の発達や少子化、核家族化により、子ども同士が直接的なコミュニケーションを交わし、人間関係を学ぶ機会が減少してきています。また、疑似体験や間接体験が多くなる一方で、体を使っての遊びや運動の機会も著しく減少しています。そこで、子ども達にスポーツを通してコミュニケーションを図りながら、人と人の触れ合いの大切さを実感してもらうことで、感謝の気持ちに満ち、他人を思いやる心を育みます。そうすることで、明るく元気な子ども達で溢れた地域を目指します。

また、急速な科学技術の発達によって子ども達を取り巻く環境は急激に変化しています。子ども達がこの急激な時代の変化に対応していく為には、新しいモノを創造できる柔軟な発想力が必要です。「言われたことをきちんとこなす」今まで通りの教育だけではなく、変わり行くこれからの社会に合った教育を子ども達に対してどのように行っていけばいいのか考えてまいりましょう。

昨今の売り上げ至上主義による各企業で起きている不祥事。本来企業のあるべき姿が失われつつあります。それは、理念（考え方）を組織として共有出来ていないからではないでしょうか。まずは、地域・企業におけるオピニオンリーダーでもあるメンバー自身が最高の姿を目指し続けながら先導していく為に、人生においての大切な考え方を学んでいくと共に、会社として、組織として、なぜ同じ考え方のもと行動する必要があるのかを考えてまいりましょう。

より良い「まちづくり」のために、まずは「ひとづくり」から、育成室は率先して行動して参ります。

一年間よろしくお願い致します。

次世代育成委員会 基本方針

子どもたちの未来のために

次世代育成委員会 委員長 島田裕二

春日部青年会議所は、長きに渡り「明るい豊かな社会」の実現を目的として、地域の皆様のご協力のもと、運動を展開して参りました。そしてこれからも地域に対して、未来を担う子供たちの育成を率先して行う事が私たちの使命であり、明るい豊かな未来へ向けた「ひとづくり」運動を継続して行ってまいります。

近年、携帯電話の普及とともにインターネット社会が子供たちの身近なものになってきました。ゲームなど画面を通して間接的に様々な体験を出来るようになったことで、外で体を動かしながら遊ぶ機会が減少してきています。また、少子化や核家族化などが進んでいる時代背景により、一人っ子の割合も高くなり、家に一人でいる機会も多くなったといえます。そして、子供たち自身がお互いに関心を持たなくなってきていると共に、友達と直接コミュニケーションを図りながら人間関係を培う機会も減っていると考えます。

そこで、ドッジボールという仲間で協力して行うスポーツを通して、人と人とが直接触れ合い、仲間と同じ目標を持ち行動し、想いを共感する事ができる機会を提供します。そうすることで、子どもたちがお互いを思いやり、助け合い、感謝の気持ちなど、豊かな人間性を育むことができ、子どもの笑顔で溢れる賑やかな地域になっていく事でしょう。

一昔前に比べ、昨今の科学技術の急激な発達により、現在の社会に於いて働き方や教育の仕方など様々な変化が起きています。それは、今後地域や子供たちの未来にも大きな影響をもたらすに違いありません。特に地域の財産ともいえるこれからの未来を担う子供たちに対しては、今までの学力を優先した教育だけでは対応出来なくなっていく事でしょう。これまでの教育に加え、これからの時代に対応できるよう、子供たちが自ら考えて創造していく力が必要であると考えます。「創造力」を育むには、その源となる「想像力」を育てあげることが必要です。

そのためには、家庭や地域、そして責任世代でもある私達自身が今後子供たちに対してどのような教育を行っていけばよいのかを一緒に考えていく必要があります。そして、これから訪れる新しい時代に向けて、子ども達の持つ豊かな「想像力」を更に育むことによって、「創造力」に溢れた地域になっていくでしょう。

本年度、次世代育成委員会では子どもたちの未来のために、何ができるのかを常に考え日々活動し、「ひとづくり」に繋がる運動を展開してまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 次世代の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 小学生ドッジボール大会の計画・立案・実施。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

会員研修委員会 基本方針(案)

社会から必要とされる組織のリーダーへ

会員研修委員会 委員長 長久保昌亮

春日部青年会議所は、多くの先輩諸兄の不断の努力により、創立から54年が経った現在も、地域社会から必要とされる組織として運動を展開し続けることができいております。私たちメンバーは、そのことに心からの感謝をしつつ、春日部青年会議所メンバーとして、地域社会から必要とされる組織づくりを継続していく必要があります。

また、私たちは春日部青年会議所メンバーであると同時に、地域の青年経済人でもあり、青年会議所活動を通じて得た学びを生かし、地域の青年経済人としても社会から必要とされる組織づくりを率先して行っていくべきなのではないでしょうか。

社会から必要とされる組織とは、その組織がどのような考え方(理念)を持って活動しているかを理解され、信頼を得ることのできる組織であると考えます。そして、組織の理念は牽引するリーダーの思いを表すものであり、その思いに対して信頼を得る必要があります。そのためには、組織のリーダーとしてだけでなく、そもそも人として人生において最も基本的であり、最も大切にすべき考え方や価値観が重要となります。

今般、日本を代表する企業であっても、私利私欲にとらわれてしまい、度重なる不祥事を起こす事態となっております。これは、己の利益ばかりを追求し過ぎるあまり、経営に携わる者が、本来人として大切にしなければならない考え方や価値観、そして、自社の理念を蔑ろにしてしまったことがその一因であると思います。

また、そもそも組織としての理念を策定していなかったり、策定していたとしても世代交代によりリーダー自身が理解していなかったりする場合には、組織としての方向性が定まらず、結束して組織活動を行うことができなくなります。

もし、理念が明確に掲げられていたとしても、組織の内部に周知されていなければ、組織の活動に理念が反映されず、何の意味も持たないものとなってしまいます。

そこで、本年度会員研修委員会では、そもそも組織における理念とは何かという基本的なところから、理念を策定するにはどのような考え方や価値観が大切になるのか、組織活動に直接的にどのような役割を持つのかを学び、その重要性を知る機会を創出して参ります。

そして、実際に理念を策定する場を設け、組織としての考え方や方向性をどのように明確にするか、自身が大切にしている考え方や価値観をどのように組織の理念として表現するかを学んでまいります。

また、組織のリーダーとして、掲げた理念をどのように組織として共有し、組織活動を通

じ、その理念をどうすれば組織の外の方々に理解してもらえるかも考え、自分だけでなく組織全体でその考えに則った活動ができるよう努めてまいりましょう。

組織のリーダーが、人として本当に大切にすべき考え方や価値観に基づいた理念を掲げることができるようになり、組織全体がその理念に則った活動をすることで、その組織がどのような考え方をもって活動しているかが理解され、社会の信頼を得ることができるようになります。そのような組織をつくり、牽引していく姿こそがリーダーとしての最高の姿であると考えます。

多くのメンバーがリーダーとしての最高の姿を追い求め、現状に満足せず、常に食欲に学び続けられるよう、関心を強く持てる例会をつくり上げてまいります。

一年間よろしくお願ひ致します。

【事業計画】

- (1) 会員の資質向上に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の拡大に関する事。
- (3) 中期運動指針に関する事。
- (4) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

国際室 室方針

一期一会

副理事長 国際室担当 関根 晋太郎

パサディナ青年会議所と春日部青年会議所、両JC間の理解と友情を育むことを目的として開始されたホームステイプログラムも本年度で34年目を迎えました。これは、諸先輩方の不断の努力の上に築かれ、地域社会の国際化にも大きく寄与してまいりました。

しかし、周りの環境は34年前からは大きく変化し、インターネットやSNSの普及で世界中の情報が得られ、海外の人ともコミュニケーションを図れるようになりました。反面、日本人の海外留学者数は2004年をピークに減少しております。これは、インターネットなどを通し世界が身近になり、現状に満足し、言語や文化の違う海外へ飛び込むことへのリスクを感じ、内向き志向になっていることも要因であると考えます。そして、今後は人口減少に伴い外国人労働者が増加していくことが予想されます。そうなれば、国内でも海外の方達と画面越しのコミュニケーションではなく、顔と顔を合わせたコミュニケーションをとり、友情を育むことが必要となってきます。

そのような今だからこそ、両JC間の理解と友情を目的として開始されたパサディナホームステイプログラムが必要であると考えます。本年度はパサディナ青年会議所が、海を渡り訪問される年です。今まで諸先輩方が努力を積み重ねてこられた本プログラムに新たな歴史を書き加えるべく、多くのメンバーで訪問団の皆さまの記憶に残る心を尽くしたおもてなしをいたしましょう。そしてパサディナ訪問団とより深く理解と友情を育くみましょう。

また、人と友情を築く為には、相手に思いやりをもって接することが必要です。そして、思いやりをもって接する為には、相手のバックグラウンドを知り理解し相手の立場に立ち考えることが必要不可欠です。したがって、本年度は地域の方々にも事業を通し多様な文化を理解する機会を提供することで世界への関心を広げ、国際的視野を持つ人材の創出を目指します。

一年間よろしくお願い致します。

国際交流委員会 基本方針

日本の魅力大発信！

国際交流委員会 委員長 春木 建

本年で34年目を迎えるパサディナホームステイプログラムは、諸先輩方、LOMメンバーの努力と地域の方々のご協力のもとに両JC間の理解と友情を深めて、地域の国際化に寄与してきた事業です。我々はこれからもこの長い年月を重ね築き上げてきた関係を絶やさずことなく両JC間の理解と友情をさらに深めていかなければなりません。

しかし、ホームステイや受け入れのホスト経験者が現在メンバー全体の4分の1しかおらず、経験者も年々40歳を迎えられご卒業されていきます。これからもこの事業を継続していくためには、渡米する年に比べ参加しやすい受け入れの本年に多くのメンバーに参加していただき、この事業の魅力を次代へ引き継ぐ必要があると考えます。また、今後も末永く継続していく為には、春日部青年会議所メンバーのみならず、多くのパサディナ青年会議所メンバーに、訪問いただき日本の魅力を知っていただく事が必要だと考えます。

そこで本年は、情報の収集や共有に大変有効なツールであるSNSを、活用することで互いのメンバーの新たな魅力や日本の知られざる魅力を発信していきます。そうすることで、訪問前からお互いの多くの情報を共有し、お互いのメンバーへの関心を高め、参加意欲の向上を図ります。本年はSNSを使った両JCメンバー間での情報の共有と、パサディナホームステイプログラムを通しての顔と顔を合わせたコミュニケーションの双方を実現し、より深く両JC間の理解と友情を育む機会を創出いたします。

また、日本は高齢化や人口減少が問題視されている中で、日本に住み就労している外国人も年々増加しております。その為、これからは異なる文化や言語を持つ他国の方々を理解し認め合い助け合いながら共に生きていく事が必要だと考えます。

現代社会ではインターネットやSNSが急速に発達したことにより世界を身近に感じることができ、容易に情報の収集や他国の人とのコミュニケーションをとれるようになりました。しかし、画面を通しての情報収集やSNSでのコミュニケーションに頼り、直接体験することやコミュニケーションをとることがおろそかになってはいないでしょうか。より深く他国の文化や人を理解する為には、直接体験をすることや顔を合わせたコミュニケーションをとることが必要なのではないのでしょうか。

そこで本年は、他国の文化や人を理解する心を育むことを目的として、異文化を直接体験

することや知る機会を創出します。他国の文化を理解する心を育むことで、他国の人を理解し友情を育める人になっていただき、世界情勢にも関心をもてるようになっていただきたいと思います。

委員会が考える日本の魅力とは世界に誇る日本の技術・伝統文化を支える人や、33年間理解と友情を継続してきた春日部青年会議所メンバーです。この魅力を誠心誠意伝えることで心を尽くしたおもてなしの心が相手に伝わり、日本の魅力への理解に繋がりその先に新たな友情が芽生えていくことでしょう。

本年もパサディナホームステイプログラムや事業を通して、両JC間の理解と友情を更に深め、地域社会の国際化に寄与するよう邁進してまいります。

一年間よろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 国際交流に関する事業の調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) パサディナ青年会議所との交流事業の計画・立案・実施。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

周年準備委員会 基本方針

未来のために

周年準備委員会 委員長 本田 洋明

公益社団法人春日部青年会議所は、愛する郷土の発展と人間性の向上という創始の精神のもと、半世紀以上の長きに亘って、地域に対して力強い運動を展開して参りました。私達がこうして日々青年会議所運動に取り組むことができるのも、諸先輩方の皆様がこれまでの運動の中で築き上げてこられた実績に基づく地域の方々からの厚い信頼によるもの到他りません。諸先輩方の皆様のご尽力に心より感謝を申し上げます。

私達は翌年、55周年という大切な年を迎えます。私達がこの55周年をただの通過点で終わらせてしまうのか、重要な節目として捉え、さらなる飛躍を誓う場とできるかは、言うまでも無く私達メンバーひとりひとりの意識に懸かっています。

40歳という極めて早い定年制と単年度制を敷く青年会議所が、なぜ地域に必要とされ、歴史を紡ぐことができたのでしょうか。それは、変えてはならない大切な価値観を守り、規律を重んじ、利他の精神を育み伝播してきたからであると考えます。

しかし、入会歴の浅いメンバーが半数を占めている現状がある中で、この諸先輩方の皆様が大切にしてきた青年会議所の伝統や価値観に対する意識が薄らいできてはいないでしょうか。また、春日部青年会議所がこれまで様々な運動を展開してきた中で、行政をはじめとし、多くの地域の各諸氏諸団体の皆様からご協力を賜りましたが、私達は感謝の気持ちを変わらずに持てているでしょうか。

私達が55周年をきっかけに今後も変わらず地域の方々から信頼され、青年会議所運動に邁進していくためには、諸先輩方の弛まぬ努力の積み重ねによって培われた、礼節と献身という大切な価値観について今一度しっかりと理解することに加えて、これまでご協力いただいた地域の皆様へ感謝の気持ちを常に持つ必要があります。そのために、周年準備委員会では、メンバーひとりひとりが翌年周年を迎えることの重大さと責任を自覚し、敬意と感謝の気持ちを持って周年に臨めるように、春日部青年会議所の歴史や運動を振り返る機会を提供します。

愛する地域の未来のために、メンバーが5年後、10年後、さらにその先の未来に視点を向け、55周年行事にて地域の皆様の前でさらなる飛躍を誓える場とできるように、本年度、周年準備委員会では着実に準備を行ってまいります。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

【事業計画】

- (1) 春日部青年会議所の過去未来を考える事業の調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 55周年記念式典の開催に関する調査・研究・計画。
- (3) 会員の拡大に関する事。
- (4) 中期運動指針に関する事。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

じゃがいも 基本方針

春日部の歴史と繋がるゴルフ交流

じゃがいもキャプテン 成田 勝哉

公益社団法人春日部青年会議所のじゃがいもゴルフコンペは、時代と共に移り変わり行く事業の中で、第1回から多くの方々のご協力のもと、現在に至るまで変わらず行われ、春日部青年会議所の伝統や歴史を先輩方から学ぶ事ができる貴重な機会であります。そのような機会を今日まで継続していただいた、先輩方に感謝申し上げます。

このコンペでは、ゴルフを通じて普段中々交流の図る事のできない先輩方と懇親を深める大切な機会であります。送迎やラウンドの中での、先輩方からの貴重なお話は、私たちがこれから青年会議所運動を行っていく中での糧となるはずです。多くのメンバーでじゃがいもに参加し、先輩方と交流を図ってまいりましょう。

合同コンペでは、久喜青年会議所のメンバーとゴルフでの交流を通じて、お互いの良いところを知り、各活動に活かしていただけたいと考えておりますが、近年ゴルフをやる人が減少していることも事実としてあります。初ラウンドがじゃがいもという声も聞かれます。初心者でも参加しやすく多くの参加者の方と交流がしっかりと図れるように、定期的に練習会を行っていきたいと考えております。また、家族も一緒に練習できるような気軽な練習会も開催していきたいと考えております。

私自身、青年会議所のゴルフコンペから卒業された先輩とも仲良くなれました。またプライベートのゴルフにも誘ってもらえるようになり、そこから仕事など、さまざまな相談等にも乗ってもらうこともありとても勇気づけられました。

本年は初心者の方でもじゃがいもに参加した事をきっかけに、ゴルフの楽しさ、先輩方との交流を楽しんでもらいたいと思っております。

一年間よろしくお願ひ致します。

サッカー部 基本方針

サッカーで繋げる想いと交流

キャプテン 細貝 透

私は春日部青年会議所に昨年の5月に入会しました。
まだまだ交流の少ないメンバーもいます。そしてJCの事もまだわからない事だらけです。
サッカー部キャプテンを通してLOMメンバー、先輩方と交流させて頂き繋がりを深めて
いきたいと思っております。

私自身サッカーは小学生のころから約8年経験があります
その経験を生かせるサッカーでJCの方々と交流させていただき、沢山の事を経験、共有で
できればと思っております。そしてオブザーバーの方にJCを気軽に楽しく知っていただける
窓口になればと考えています。

私の経験ですが、サッカーは技術とチームワークはもちろん大切です。上手い下手はあり
ますが。それよりも気持ちが大切なスポーツだと感じています。
気持ちを一つにしてゴールを決めた時の気持ちを皆様に共有し一緒に楽しめたらと思っ
ています！皆様が気軽に交流、健康作りができる環境をつくらせて頂きたいと思っ
ていますので皆様のご参加、ご協力よろしくお願い致します。